

本紙2012年「建設論壇」は、次の8氏が次週号から1年間執筆を担当します。それぞれの専門的立場から、また社会全般な視野からの提言等にご期待ください。

(執筆順)

監理部門、環境部門)等
▽資格 技術士(総合技術)

△平成23年8月より現職
△受賞 (社)沖縄県建築士会
の第3回、第5回住宅建築
奨励賞、第8回建築大賞な
ど多数

△平成23年4月より現職
△役職等 西原町都市計画
審議会委員(平成12年)
16年)、琉球大学非常勤講
師(平成7年)

△平成23年4月より現職
△平成23年4月より現職
△資格 特別上級土木技術
者、技術士(建設・総合技
術監理)など

△平成23年8月より現職
△資格 設計課課長補佐等

△昭和39年生まれ 大阪府
出身

△平成3年 大阪大学大学
院工学研究科環境工学専攻
修了

△平成3年 水資源開発公
團採用後、環境庁水質管理
課係長、建設省近畿地建河
川調整課課長補佐、水資源
機構川上ダム工務課長、國
土交通省河川局流水管理室
課長補佐、水資源機構本社
設計課課長補佐等

△昭和30年 那覇市生まれ
△昭和56年 神戸大学土木
工学科卒業

△昭和57年 沖縄県入庁
後、道路、河川、都市計画
等の業務を歴任

△昭和27年 那覇市生まれ
△熊本大学建築学科卒業
(昭和51年)後、昭和55年ま
で(株)建築計画研究所で橋本
邦夫氏に師事、その後渡米
し、建築家パウロ・ソレイ
ノーレル課長

△昭和27年 西原町生まれ
△昭和52年 岐阜大学工学
部土木工学科卒業

△昭和52年 沖縄県厅入庁、
建設材料試験所、都市計画
課、住宅課、空港課などで
業務に携わる

△昭和28年 大阪府出身
△昭和53年3月 東京大学
大学院工学系研究科土木工
学専門課程修士課程修了、
取得

△昭和53年 建設省人質後、
△平成21年 道路街路課長
△平成22年 北部土木事務
繩総合事務局次長(平成19
年4月~20年7月)、近畿
地方整備局長などを歴任

△昭和51年 南風原町出身
△平成8年 中央工学校土
木建設科卒、平成16年琉球
大学法文学部卒

△平成8年 (株)南城技術開
発入社、平成12年街クリー
ン(株)代表取締役就任

△昭和51年 兵庫県伊丹
市生まれ

△昭和15年 京都大学大
学院工学研究科 博士後期
課程修了 博士(工学)取
得

△昭和53年 国土交通省国際建設課長、
水資源計画課長、内閣府沖
縄総合事務局次長(平成19
年4月~20年7月)、近畿
地方整備局長などを歴任

△昭和51年 兵庫県伊丹
市生まれ

△平成23年8月より現職
△資格 技術士(総合技術)

△昭和30年 那覇市生まれ
△昭和56年 神戸大学土木
工学科卒業

△昭和57年 沖縄県入庁
後、道路、河川、都市計画
等の業務を歴任

△平成3年 水資源開発公
團採用後、環境庁水質管理
課係長、建設省近畿地建河
川調整課課長補佐、水資源
機構川上ダム工務課長、國
土交通省河川局流水管理室
課長補佐、水資源機構本社
設計課課長補佐等

△昭和39年生まれ 大阪府
出身

△平成3年 大阪大学大学
院工学研究科環境工学専攻
修了

△平成3年 水資源開発公
團採用後、環境庁水質管理
課係長、建設省近畿地建河
川調整課課長補佐、水資源
機構川上ダム工務課長、國
土交通省河川局流水管理室
課長補佐、水資源機構本社
設計課課長補佐等

△昭和39年生まれ 大阪府
出身

△平成23年8月より現職
△受賞 (社)沖縄県建築士会
の第3回、第5回住宅建築
奨励賞、第8回建築大賞な
ど多数

△平成23年4月より現職
△役職等 西原町都市計画
審議会委員(平成12年)
16年)、琉球大学非常勤講
師(平成7年)

△平成23年4月より現職
△平成23年4月より現職
△資格 特別上級土木技術
者、技術士(建設・総合技
術監理)など

△平成23年4月より現職
△平成23年4月より現職
△資格 設計課課長補佐等

△平成23年4月より現職
△平成23年4月より現職
△資格 技術士(総合技術)

△平成23年4月より現職
△平成23年4月より現職
△資格 設計課課長補佐等

新石川



供用開始した新石川浄水場(提
始となった。新石川浄水場
は自然災害に強いだけでは
してクリーンエネルギーを
活用するなど時代を先取り
した施設となっている。新
石川浄水場を手本に安心で
おいしい水道水の供給や災
害に強い水道づくりを全国
に広げていきたい」と水道
事業の質の向上に取り組む

く、小水力発電設備を導入
してクレーンエネルギーを
活用するなど時代を先取り
した施設となっている。新
石川浄水場を手本に安心で
おいしい水道水の供給や災
害に強い水道づくりを全国
に広げていきたい」と水道
事業の質の向上に取り組む
多知事と会談した。

仲井眞知事は、まず救急
患者の搬送や不発弾処理な
ど自衛隊の活動に感謝の意
を表した。県内の基地問題
に関しては県民感情を汲み
取つて解決を図つてもらい
たいとした上で、「基地か
就任後、初めて沖縄を訪
問している田中直紀防衛相
は23日、県庁で仲井眞弘
多知事と会談した。

仲井眞知事は、まず救急
患者の搬送や不発弾処理な
ど自衛隊の活動に感謝の意
を表した。県内の基地問題
に関しては県民感情を汲み
取つて解決を図つてもらい
たいとした上で、「基地か
主への給付金支給の開始時
に話して実現させた

時に話して実現させた
主への給付金支給の開始時
に話して実現させた

駐留軍用地跡地利用促進法
を通常国会に提出し、成立
を図つていただきたい。先日、
(東京で)会談した際に知
事が要望した給付金の開始
時期等については、関係省
と話し合つて実現させた

会談後、会見した仲井眞
多知事は、「(跡地利用に関し
て)ある時期から政府の跡
地利用法制定と内容の充実
に向けて、積極的に取り組
む声を聞きながら、誠心誠
意話し合つて、課題解決の
糸口を見出していくべきだ」と
沖縄の理解を得ながら進
めていく姿勢を示した。

会談後、会見した仲井眞
多知事は、「(跡地利用に関し
て)ある時期から政府の跡
地利用法制定と内容の充実
に向けて、積極的に取り組
む声を聞きながら、誠心誠
意話し合つて、課題解決の
糸口を見出していくべきだ」と
沖縄の理解を得ながら進
めていく姿勢を示した。